

# 六甲山系における樹木に関する勉強会を開催しました

H29.9.6

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

六甲砂防事務所で行っている六甲山系グリーンベルト整備事業は、従来の砂防えん堤を中心とする溪流工事に加えて、山腹工として砂防樹林帯の保全・育成を図ることにより、土砂災害を防止し、あわせて良好な都市環境の創出にも寄与しようとするものです。

そのため、樹林整備に必要な樹木に関する知識の向上を目指して勉強会を開催しました。また、今回はキャンプ砂防生※ も一緒に24名で学習しました。

日時：平成29年9月6日（水）13:00～16:30  
場所：六甲砂防事務所、渦が森（神戸市東灘区）  
参加人数：24名（事務・技術職員、キャンプ砂防生）  
主催：六甲砂防事務所  
内容：室内勉強会、その後現地で植生の繁茂状況等を観察しながら説明



※9/4～9/8の期間、砂防の特性や事業について学習や現場実習を行う学生

## ○室内勉強会（六甲砂防事務所）

植生調査業務の受業者の協力で、植物の専門家を講師に、勉強会を行いました。

勉強会では、植生区分の種類やその成立要因といった森全体に着目した基本的な知識から、木と草の違いや樹木の分類手法など樹木自体に関する調査など幅広く学習しました。

また、参加者の樹木に関する知識を確認するため、抜き打ちで何種類の樹木名を記述できるかといったテストも行いました。その結果、事務所全体では153種類の樹木を書くことができました。

【記述数が多かった樹木ベスト5】

1位：スギ      2位：コナラ      3位：ヒノキ  
4位：ブナ      5位：アカマツ



室内勉強会の様子

## ～参加者の声（キャンプ砂防生）～

- ・生物環境に関する分野に興味があるので、とても楽しく学習できた。
- ・樹木の分類の難しさが理解できた。現地で実物の樹木のどこに着目すれば見分けられるか学習できたので分かりやすかった。
- ・樹木に関する知識はほとんどなかったので、学習内容が非常に新鮮だった。また、事業を進めるためには幅広い知識が必要であると感じた。

## ○現場説明（渦が森）

多くの種類の植生の群落や群集が確認できる渦が森で現地調査を行いました。

葉の形状や樹皮から樹種を特定する手法や、樹木標本を作る際の採取方法や標本にする場合の注意点などの説明をうけ、各人1種類の樹木を採取してもらい、ラベルを付けて「おし葉標本」の作成にも挑戦しました。

また、途中ナラ枯れの被害木や対策木があり、その被害状況や対応の説明もあわせて行いました。



←現地説明の様子



↑ 標本づくりの説明



←作成した樹木標本  
（ムラサキシキブ）

## 【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局  
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15  
TEL：078-851-0535

